

1 公共建築物等への木材利用促進

(1) 公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針の策定

【県方針】平成23年3月策定

【市町村】54市町村のうち37市町村が策定(策定率69%)

(2) 公共建築物の木造率

	H26	H27	H28
建築物全体(全国)	40.3%	41.8%	42.3%
うち公共建築物	10.4%	11.7%	11.7%
うち低層の公共建築物	23.2%	26.0%	26.4%
建築物全体(千葉県)	40.2%	46.4%	46.4%
うち公共建築物	8.4%	9.7%	14.0%
うち低層の公共建築物	18.3%	23.7%	24.5%

(3) 木造公共建築物の整備支援

県及び市町村職員等の建築技術者を対象とした技術講習会を開催。

(4) 木材調達の支援

公共建築物の木材調達に向けて、生産者と実需者とのマッチングを実施。

2 民間建築物への木材利用促進

(1) 住宅利用の促進 【県・山武市・香取市】 県予算：9,250千円

県産(市産)木材による新築戸建住宅の建設経費を助成。25万円/棟。

木材利用量の増加を図るとともに、補助金を契機として新たに県産木材を利用しようとする工務店と生産者のマッチングを促し、地域密着型のサプライチェーンを構築することを目的とする。

《ちばの木づかい協議会》

千葉県森林組合、木材加工事業者、設計事務所、工務店等の川下～川上の連携による県産木材によるオリジナル住宅の企画・販売。

実績：23棟(H24～29年度)

(2) 内装・木製品の利用促進 【H30年度新規事業】 県予算：5,000千円

県産木材の普及を図るため、公共建築物及び展示効果の高い民間施設における県産木材を利用した内装・木製品導入経費を支援。

補助率1/2以内、上限100万円。

3 木製品の開発

補助事業や認定制度(産業振興課)等による県産木材による木製品開発と利用拡大の支援。

《県産木材による製品事例》

- ・ スギを活用したベンチ、イス等の什器
- ・ サンプスギを活用した床材
- ・ マテバシイを活用した床材、壁材
- ・ 木製パーテーションポール
- ・ 木の名刺・折り紙
- ・ スギLVLの厚板構造部材
- ・ LVLの耐火部材 など

《モクコレ出展》

東京都が主催する木材製品の展示商談会に、千葉県として出展。

4 木育

- (1) 木工出前授業の開催(中学校の技術科の授業に木工技術の専門家を派遣)
- (2) 中学校木工工作作品展の開催

《山武市・ウッドスタート宣言》

平成29年8月に「ウッドスタート宣言」し、地産地消の木製玩具による木育を推進。1歳6ヶ月の検診時に地元のサンプスギで作成した積み木をプレゼントしている。

5 その他普及啓発

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村ビレッジプラザの建築資材として県営林材を提供する。なお、解体後に返却された木材は、県がレガシーとして後利用する。

【木材利用事例】



県立安房高校柔剣道場(木造)



千葉興業銀行東松戸支店(内装・木製品)